



第3回大規模災害対策協議会を開催しました！

2026年1月21日（水曜日）に第3回大規模災害対策協議会を千葉県教育会館会議室およびオンラインを併用し、講師を石川県社会福祉協議会からお迎えして千葉県社会福祉協議会から3人、事務局、オブザーバー合わせて13人、合計17人で懇談をおこないました。今回は石川県社協の方から能登半島地震での取り組みをお聴きし、千葉県社協の方と千葉県で災害が発生した時の対応について、意見交換をおこないました。



全体的様子

はじめに、千葉県生協連尼崎専務より、本日は石川県社協の方が能登半島地震での取り組みを聴いて、千葉県で災害が発生した時の対応を意見交換したいとあいさつがあり、続いて千葉県社会福祉協議会 会田地域福祉推進部長より、日頃からの顔の見える関係づくりを深めていきたいとあいさつがありました。

次に石川県社会福祉協議会の村田次長より、令和6年に発生した能登半島地震における石川県社協の取り組みについて以下の報告がありました。

- ① 石川県社協の主な取り組みとして、発災後の初動対応、市町社協との連携、福祉施設等への支援をおこなった。
- ② 被災者見守り・相談支援等事業として石川県から受託を受け、石川県地域支え合いセンターを立ち上げた。
- ③ 広域避難者支援の取り組みとして、市町センターがおこなう被災者サロン、市町を超えた広域避難者集いの場として能登サロン、移動困難者を対象に復興状況を知るためのバスツアーとして能登ふるさとバスをおこなった。
- ④ 生活支援相談員が被災住民を訪問して声を聴き、様々な支援をおこなっている。

続いて能登半島地震に対する取り組みについて各団体より以下の報告がありました。

- ① 千葉県社会福祉協議会の牧内副主査より、能登半島地震等における職員派遣の仕組み・状況について
- ② 日本生協連の田中部長より、全国生協の能登半島地震・奥能登豪雨災害支援の取り組みと 2026 年度に向けた計画について
- ③ パルシステム千葉、コープみらい、こくみん共済 coop、中央労働金庫、千葉県生協連より、能登半島地震に対する取り組みが報告されました。

報告終了後に「千葉県で災害が発生した時の対応に備えて」以下の意見交換をおこないました。

- ・こくみん共済 coop の災害時の対応について

⇒ 契約者に給付申請のお手伝いとして被災された方への訪問をおこなっているが、不在の方も多いので情報を整理しながら対応している



オンラインの参加者

- ・中央労金の災害時対応について
 - ⇒ セーフティネット商品として当面の生活資金を貸し出している。コロナの時は利用が多かった。
- ・生活支援相談員の方の現状について
 - ⇒ 元々社協とつながりがあった方をお願いをすることが多いが、計画通りに人数が集まらないこともあるのでハローワークや人材センターに募集を出したりもしている。雇用が不安定なので募集も難しい状況である。
- ・地域の顕在化してきた課題について今後、どのように考えているか？
 - ⇒ 被災四市町の社協に対して被災地社協支援事業を立ち上げ、定期的に話し合いをおこなっている。人口の流出や職員の退職等、様々な課題が発生している。
- ・千葉で発生した場合の生協としての対応は？
 - ⇒ 事業の継続を優先するが、中間支援組織等の団体と連携して情報収集をおこない地域支援をする必要がある。

最後に石川県社協の村田さんから今後に向けたメッセージをいただき終了しました。

次回は 2026 年 3 月 5 日（木）を予定しています。

以上